

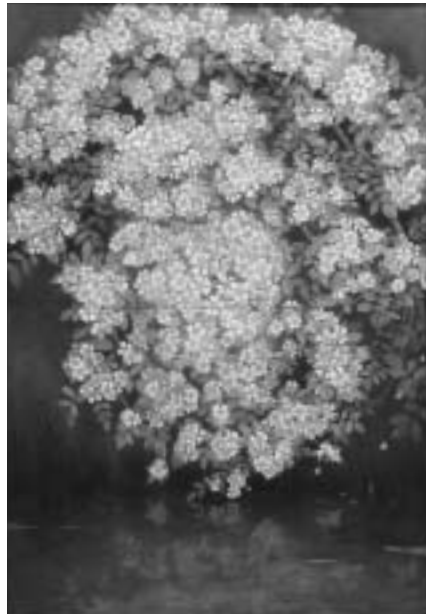
第3回 香南市 美術展覧会

各部門とも大作・力作がそろい、見ごたえのある展覧会となりました。
会期中、写真の部は720人、書道・絵画の部は716人、陶芸の部は275人の観客が市内外から来場しました。今年2回目となった陶芸の部では若い世代からの出品や小作品の出品が増え、バラエティーに富んだ展覧会となりました。かわいいう小作品に会場からは「心がなごむね」との声。今年も好評のうちに幕を閉じました。

▼写真の部：1月17日～25日
▼書道・絵画・陶芸の部：2月21日～3月1日
■香我美・野市図書館で開催

■審査員
英 伸三(写真)
大野祥雲(書道)
森本忠彦(洋画)
土居恒夫(日本画)
川村泰英(陶芸)

部 門	出品作品数
写 真	332点
書 道	48点
洋 画	39点
日本画	21点
陶 芸	36点



日本画「爽春賦」
八木 眞理子(高知市)



写真「母の肖像」
森本 忠純(高知市)



書道「送人之京」
竹森 勇喜(野市町)



陶芸「志野茶碗」
橋詰 明儀(南国市)



洋画「赤い扉」
宮岡 晃子(高知市)

特選作品

入賞者 香南市のみ掲載(敬称略)

▼写真の部

【褒状】(野市町)武田啓愈
【奨励】(野市町)恒石 丹
【入選】

【香我美町】河野彰子
【野市町】牛腸典代・大田和子・大庭延美・小笠原栄八
川村邦夫・小松昭夫・坂本守正・武内 蔵
半田中將・野嶋 積・山西典夫・横田啓輔
吉川健一

▼書道の部

【特選】(野市町)竹森勇喜
【褒状】(野市町)矢島享子
【奨励】

▼絵画(洋画)の部

【褒状】(野市町)岡村泰子・和田千草
【奨励】(野市町)岡林泰子・和田千草
【夜須町】溝淵裕泉
【入選】

▼絵画(日本画)の部

【褒状】(野市町)常石峰子
【奨励】(吉川町)中澤和恵
【入選】

▼陶芸の部

【褒状】(野市町)吉良 博(吉川町)中澤都志子
【奨励】(野市町)形見滋三・山崎正博
【入選】



おおきくなーれ!!

みてみて!うちの子

この春、成人を迎えた私。就職も決まり社会人としての第一歩を踏み出そうとしている。少し前を振り返りながら自分の「これから」を見つめてみた。
真っ先に思い出されるのは、部活一色だった高校生活。中学校から始めた吹奏楽部に、高校入学とともに当たり前のように入部。中学校と同じ感覚だった。



しかし、入部して思ったことは「なんだ!これは!!」中学校とは比べようのないほどの練習量と内容に早くも挫けそうになった。夏休みも冬休みも春休みも、ほとんど毎日学校へ行き、朝から晩まで練習。どの部活よりもきついと思った。
先生や先輩からの厳しい言葉、熱い思いが私には重荷になった。どんなに頑張っても先輩に追いつくことはできないし、先生に褒めてもらえる

春が来た

ことなんてめったにない。努力が実を結ばないことに悔しさでいっぱいになった。そんな思いばかりだった部活が、心から楽しいと感じたのは2年生の夏を過ぎたころ。自分たちが部員を引っ張っていく立場になったとき、今までの先輩方の熱い思いの理由が分かった。私の人生で最後

かもしれない「部活動」。頑張らないわけにはいかない。「自分がやらないかん!」という使命感や「後輩に負けたくない!」という意地。それらも頑張る力だったように思う。
最後までやり切ったとき、「続けてほんとに良かった」と心から思った。

自分たちだけではできるところも限られるが、協力してくださるたくさんの方々に感謝の気持ちを持ち、ともに活動していく多くの仲間たちに出

会えたことで人としても成長できたと思う。
部活を通して学んだ、「目標に向かってひたむきに頑張る気持ちと努力」は今後の人生でも大きく役立つと思う。

これから始まる新しい環境と生活に、不安もあるけれど「ひたむきに」頑張ろうと思う。

(野市町・がんばる若僧)

『おおきくなーれ』コーナーでは2歳の誕生日までのお子さんの応募をお待ちしています。■総務課秘書広報係 ☎ 56-0511

※市内在住者に依頼し、コラムを書いてもらうコーナーです